



幹事あいさつ

2024－25年度 幹 事 多田 憲司

2024-25 年度佐藤信雄会長のもと、福島中央ロータリークラブの幹事を仰せつかりました多田でございます。私は 2020 年の 8 月に入会をさせていただきました、ロータリーの経験としましては 4 年弱であります。まだまだロータリーについて知らないことも多く勉強中の身ですので、一年間務まるのか不安ではありますが、ぜひ皆様からご指導・ご鞭撻を賜りながら、私なりに精一杯頑張りますので宜しくお願い致します。

2024-25 年度 RI 会長ステファニーA. アーチック氏の RI テーマは、「ロータリーのマジック」(英語: The Magic of Rotary)であります。アーチック会長は講演の中で、「誤解しないでください。私たちは魔法の杖を振って呪文を唱えるだけでポリオを根絶したり、世界に平和をもたらしたりするわけではありません。それは皆さん次第です。プロジェクトを終えるたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、皆さんはマジック(魔法)を生み出すのです。」と述べられたそうです。問題解決に特効薬はなく、人と人とが思いやり、繋がり、声をかけあうことが始まりの一步である、と私は解釈しました。そのテーマを実現できるよう、微力ではありますが一年間取り組んでまいりたいと考えております。

本年参加させていただきました次期幹事セミナーにて、阿久津肇パストガバナーから「幹事に求められる心得」を教わりました。

幹事の責務として、

- 1.事務的なことをしっかりと
- 2.クラブの要
- 3.会長と幹事はパートナー

幹事の心得として、

- 1.会長と連絡を密に
- 2.クラブの現況把握
- 3外部からの連絡・情報を適切に処理
- 4.幹事報告

その他多くの業務があることを教えていただきましたが、特に印象に残ったのは「例会における幹事報告でクラブのレベルが推量される」とのご教示です。幹事としての責任の重さを感じた次第です。すべてを行うことは能力不足で難しいかもしれませんが、少しでも達成できるよう努めてまいりますので宜しくお願い致します。

最後に、まだ入会歴も浅く、分からないことだらけの未熟な状態ですので、皆様には物足りなさを感じさせてしまうかもしれません。またご迷惑をおかけしてしまうことが多々あるかもしれません。ぜひ温かい目で見守っていただければ幸いです。

一年間、宜しくお願いいたします。